

意見書

I. はじめに	
1. デジタル広告市場の課題に係る背景	
	デジタル広告特有のリスクを放置することは、「偽・誤情報や違法アップロードコンテンツ等の流通・拡散を助長することに繋がり、民主主義の前提となる表現の自由の基盤が脅かされる」との懸念は極めて妥当であり、こうした認識のもと、本ガイドランスを作成する趣旨に賛同します。
3. 本ガイドランスの対象及び定義	
	デジタル広告市場が抱える課題を解決するためには、広告主のみならず広告会社や広告仲介プラットフォーム事業者の理解や協力が欠かせません。本ガイドランスの対象に広告会社や広告仲介プラットフォーム事業者の担当者および経営層が含まれることが、本文中に明確に記述されることが必要です。
II. 広告主等が考慮すべきリスク・課題について	
2. 広告主等が考慮すべきリスク	
③ デジタル社会の不健全なエコシステムに加担するリスク	偽・誤情報や違法アップロード等を掲載する媒体に広告主の広告が配信されることは、デジタル空間のエコシステムのみならず、民主主義や経済など社会全般に影響を与えます。デジタル広告市場の課題は、デジタル空間のみの課題にとどまらない旨の指摘が本文中に明確に記されることが必要です。
III. 経営層が対策に関与することの必要性について	
2. (マクロ視点) 広告主の社会的責任の重要性	
① コンプライアンスリスクの防止	デジタル広告は、デジタル空間のエコシステムのみならず、民主主義や経済に影響を与えるリスクがあると考えます。デジタル広告市場の課題は、デジタル空間のみの課題にとどまらない旨の指摘が本文中に明確に記されることが必要です。
IV. 広告主等が実施することが望ましい取組について	
1. 体制構築・目標設定	

③情報の開示	<p>広告主が年次報告書や自社のホームページで公表することが望ましい取り組みの事例を示すことが必要です。その際、偽・誤情報や違法アップロード等を掲出する媒体に広告が配信されないよう取り組む広告主が、社会から適切に評価されることが望ましいと考えます。</p>
2. 具体的取組	
④広告プラットフォームが提供する機能の利用	<p>広告主が望ましくないと判断した媒体を配信先から除外できる機能の充実が広告仲介プラットフォームに求められる旨、本文中に明確に記述されることが必要です。</p>
4. 参考資料(デジタル広告関連団体が公表しているガイドライン等)	
	<p>ガイダンス案に掲載されている参考資料はいずれも有益な資料と考えます。各団体のガイドラインが新設・改訂された場合は本ガイダンスにも遅滞なく反映されることが必要です。</p>